

画像解析技術を活用して労災発生の抑止を図ります

不安全行動を自動で検知し 注意を促します

背景・目的

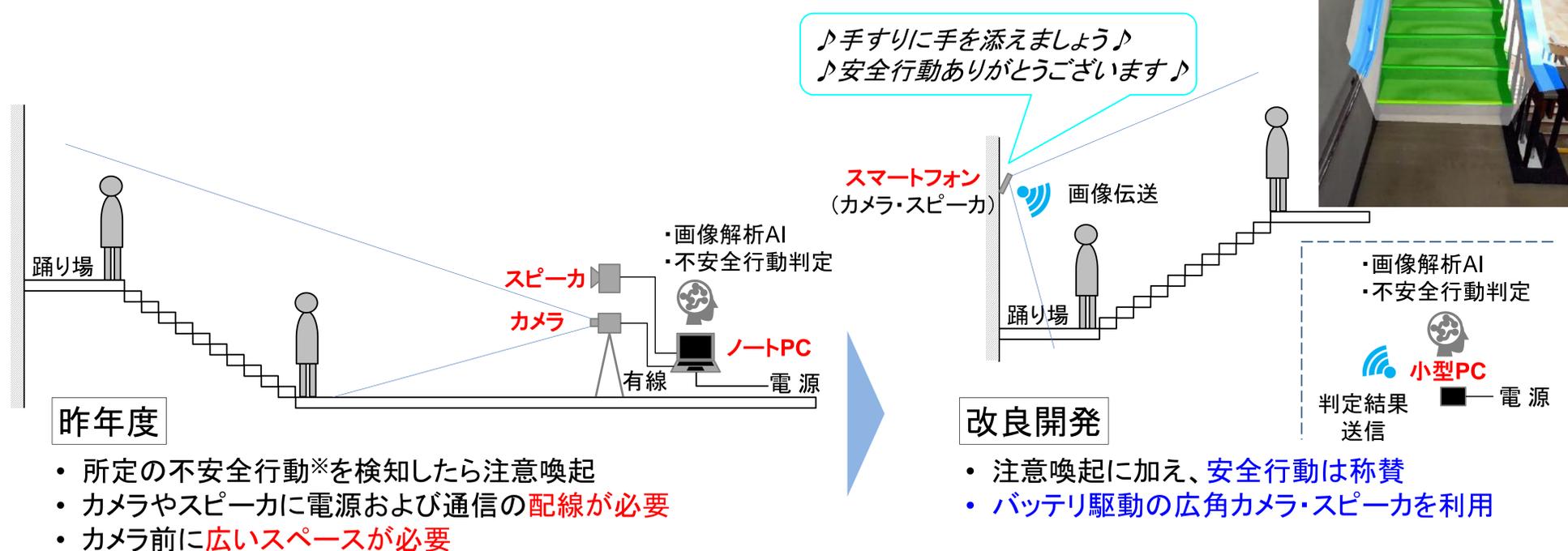
- 画像解析技術の進展により、物体検出やヒトの行動解析などが可能になっている。
- 各種作業時の行動を解析し、不安全行動を検知すると注意を促すシステムを実現する。
- 昨年度構築したシステムの改良開発(狭所対応・電源工事不要化、など)を実施している。

特長

- ヒトの姿勢推定や、顔向き推定、画像分類を行う画像解析AIを活用。
- 今回は、弊社でヒヤリハットや災害事例の多い階段昇降を対象にシステムを構築。
- 所定の不安全行動を検知した場合は注意を促し、検知されない場合は称賛する。

用途

- 労災発生抑止技術として活用
- 安全行動の習慣化・定着化、安全意識の向上への寄与を期待



昨年度

- 所定の不安全行動※を検知したら注意喚起
- カメラやスピーカに電源および通信の配線が必要
- カメラ前に広いスペースが必要

※ 所定の不安全行動
・手すりを持たない ・階段抜かし ・よそ見 ・走る

改良開発

- 注意喚起に加え、安全行動は称賛
- バッテリ駆動の広角カメラ・スピーカを利用

※ 技術提供:  LIGHTBLUE TECHNOLOGY
HumanSensing

開発者の ひとこと

労災の発生抑止に向けた最新技術の適用性評価を行っています。
研究成果が作業安全性向上に寄与できるよう、鋭意取り組んでいます。